

安心して
住みつづけられる
上京区を!!

上京区 京都市会議員

くらた共子



くらた共子

Kurata Tomoko

Profile

- 1960年 生まれ。
- 1978年 府立園部高校卒。
- 1983年 府医師会看護専門学校看護科卒。
- 1998年 訪問看護ステーションわかば所長。
- 1999年 ケアマネージャー兼務。
- 2003年 市会議員。(3期)

●ご意見・ご要望は下記までご連絡ください。

日本共産党京都市会議員団

2014年3月

京都市中京区河原町御池 京都市役所内
TEL. 222-3728 FAX. 211-2130

E-mail. info@cpgkyoto.jp

京都市会議員団 検索

命とくらしを守るために、いつも全力で

命・くらし



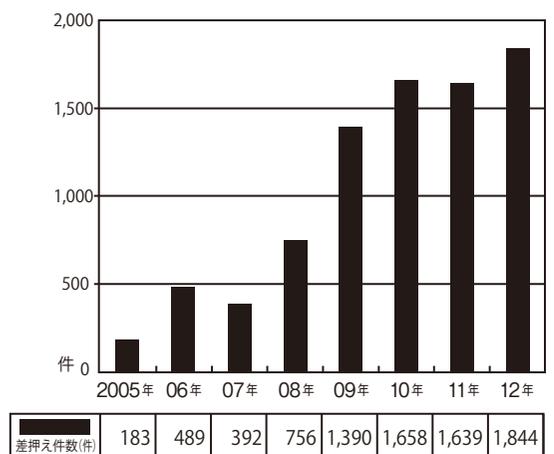
高すぎる 国民健康保険料の 引き下げを

「国保料が高すぎる」「糖尿病や心臓病で医者にかからなあかんに、滞納保険料があることを理由に、1カ月分の保険証しかもらえない」「難病患者であることが窓口で言っても、正規の保険証をもらえない」など、切実な区民の相談が寄せられてきました。

私は、一貫して、まずは市民の命を守るのが行政の仕事だと、一人ひとりの市民への丁寧な対応を求めてきました。夫婦と子どもの4人家族で年間所得300万円の世帯に、京都市の国保料は45万円と大変な負担です。

京都市は、単年度の国保会計が黒字でも、過去の累積赤字を理由に、国保料を引き下げようとしません。「制度を維持するため」などと言いますが、市民の命や健康を二の次にするような国保行政を認めることはできません。

【国保差し押さえ件数(件)】



昨年9月市会の本会議や決算特別委員会でも追及しました。引き続き、国保料の引き下げ、保険証の取り上げ中止を求めて頑張りたいと思います。

訪問看護利用の 助成制度が 実現しました



私は、訪問看護師として働いてきた経験から、先天性の障がいのある子どもさ

ら等への訪問看護が求められていても、1回の利用料金が高額で利用できない実態

や助成制度が設けられている他都市と比べて京都市の施策が遅れていることを指摘し、改善を求めてきました。そして、2012年度に、市民や関係者のみなさんが切実に求められてきた助成制度が実現しました。

現在、在宅療養を支える医療・介護の現場から、がんの患者さんが安心して在宅療養できる環境づくりの前進を求める声が寄せられています。私は、人間の尊厳が守られる療養環境の整備に、引き続き力を尽くしたいと思っています。介護保険制度の改悪に反対して頑張ります。

子どもたちに 豊かな放課後を 学童保育の充実を

経済不況のもと、共働きを望む世帯は増えています。ところが、子どもたちが安



翔鸞学童保育所の耐震改修を急げ!!

環境整備も求めてきました。今後、元春日小学校の御所南小学校分校計画が進みますが、現在の「春日学童クラブ」を上京児童館の分

心して過ごせる学童保育所が不足しています。京都市は「待機児童は生じていない」と言いますが、実際には、小学校や自宅から遠いことや、既存の学童保育所がすでに一杯で、子どもが敬遠するなど、申し込み自体をあきらめざるを得ない実態があります。私は、地域のみなさんから寄せられた要望をもとに、お母さんたちと一緒に学童保育所の設置や充実を求めました。

2010年には元春日小学校内への「春日学童クラブ」の設置が実現し、その後の

室ではなく、正規の学童保育所として位置づけるよう求めています。また、翔鸞小学校敷地内にある翔鸞学童保育所の耐震改修を急ぐよう求め、「早急に取り組む」との答弁を得ました。学校統廃合後、通学圏が拡大した西陣中央小学校区の子どもや保護者のみなさんからは、「学区内に学童保育所がほしい」との切実な要望が出されています。私は、その実現に向けても全力で取り組んでいきたいと思っています。



安心してくらせる 住みよい 上京区を



コミュニティー道路として整備された猪熊通り
(2013年11月)

みなさんと力を合わせ、 イズミヤの計画を 一部変更させる

コミュニティー道路である猪熊通りに来客用駐車場の出入り口を設置するイズミヤ堀川丸太町店の出店計画について、住民から計画の見直しを求める請願が出され、全会一致で採択されましたが、京都市は事実上、この計画を容認してきました。その後、京都市の本店立地審議会で、住民要望を反映し専門委員から厳しい意見が相次ぎ、イズミヤの駐車場計画に待ったをかけました。これを受けて、イズミヤは「自動車分担率の目標を30%から20%に引き下げる」と文書で表明せざるを得なくなり、「近隣に隔地駐車場を確保する」と約束しました。

住民のねばり強い運動で、駐車場計画の一部を変更させることはできましたが、開店後も、近隣の住環境の保全と通学路の安全が確保されるよう、引き続き、監視を強めていくことが必要です。

御苑周辺の 安全対策が前進 側水路全体の整備を

御苑周辺の歩行空間整備事業が進んでいます。13年度は烏丸通沿いの横断歩道部分が整備されました。市民からは「間伐材を使ったデッキと手すりが温かい雰囲気を感じがよい」と好評です。身体に障がいのある方から、「側水路全体を整備してほしい」との要望が寄せられています。こうした声を環境省や総務省にも伝え、御苑側水路全体の事業を検討しよう京都市に求めています。引き続き、働きかけます。



今出川通に設置されたデッキ・手すり(2013年3月)

烏丸今出川の 駐輪場整備の いっそうの前進を

烏丸今出川交差点の路上に放置されていた自転車。点字ブロック上の駐輪に「車イスが通れない」との悲鳴が上がっていました。私は、「同志社大学の学部移転により、約8000人の学生が増えることから、放置自転車の特別な対策が必要」と求めてきました。

駐輪場が設置され、大学構内での駐輪場整備も進んでいます。いっそうの前進を求めています。



新設された、まちかど駐輪場(2013年3月)

擁翠園の保存に全力。 一般公開の実現が 求められます

元貯金事務センター(元郵政省)の跡地売却にあたり、落札条件に「擁翠園を保存し維持管理すること」を盛り込むよう京都市に求め、実現させてきました。引き続き、庭園の一般公開の実現に努めるよう求めています。



一般公開が求められる擁翠園(株)アークレイ所有

堀川団地再整備は 住民合意で

京都府がこれまでの合意を反故にして、突然、耐震改修から新築建て替えに計画を変更しました。「約束が違うではないか」との憤りの声が上がっています。市長は、住民の声をよく聞き、合意の得られない計画は進めないよう府に求めるべきです。



西陣とともに

私が、看護学生として生活した地が、「千両ヶ辻」でした。当時、織物労働者として働いておられた女性の方が、喘息の発作で治療にいられていました。山根診療所医師が、その患者さんのことを「腕の良い職人さんでよく働く」と言われていました。そのことが、私が病気と労働の結びつきを考える最初のきっかけでした。



廃棄予定織機をストックし、必要な部品を取り出し、活用する仕組みづくりや、賃織や出織職人さんの生命線ともなる機料店の後継者確保も強く求められました。

西陣織物産地の声を市会に届けてきました！

残念なことに年々、西陣織の織機が廃棄されています。また、故障した織機を手直しできる産地内の機料店が閉業し、動いている織機のメンテナンスができなくなれば産地の機能は寸断される事態となります。

私は2008年の機料店閉業問題は産地の実態を突き付けているとして、市長に対策を申し入れてきました。また、議会で、

ものづくりの道具類枯渇・後継者不足対策を急げ！

私は、一貫して西陣織に欠かせない道具の枯渇や道具をつくる職人の後継者がつくれない問題をとり上げてきました。「ものが売れることが、解決の道」とされていますが、西陣織物産業の抜本的な改革が必要です。



そのためには、自治体が西陣織物に携わる人々の知恵を集め、外部の意見も取り入れて協議する場をつくる必要があります。私は、景気頼みとならない地場産業としての産地の基礎をつくり、若者が伝統産業に従事し生活できるように力を尽くしたいと思います。この間、販路の開拓支援として、小企業者が単独

で海外との商談をおこなうことは困難であることから、グループ化も含めた行政支援をと求めてきました。何をつくり、誰に

どう購入して頂くか、ものづくりの裾野を広げる知恵と技術の結集が必要です。

2014年度予算で原材料、道具、部品の供給者を含めた伝統産業従事者の設備改修に対する補助が実現しました。引き続き、みなさんと力をあわせてがんばります。

存亡の危機との認識が必要だ」。

私は、2012年10月の市長総括質疑で産地の実態を指摘し、運転資金の援助等を求めるとともに、消費税増税の中止を国に求めるよう迫りました。また、中小零細企業の金融支援の強化を求め、副市長が「貸し渋り、貸しはがしがないように、信用保証協会にも協力を求める」と答弁しました。私は「1社も潰さないという構えが必要」と強調しました。

性を切り開くための努力を積み重ねてこられていきます。その一つが、「西陣町ミュージアム構想」です。

関係者のみなさんがNPO法人を立ちあげて活動し、昨年10月、上京区役所との共催で「西陣町ミュージアム・文化まつり」の取り組みを成功させました。

西陣織物などの伝統産業は、地域の歴史・文化と一体として存在しています。そのことが、他にない経済性を伴う地域性を創り出していることを再確認し、新しいまちづくりを展望しようとするものです。

私は、今後も幅広いみなさんと共に学び、西陣のまちの発展につくっていききたいと思っています。

消費税増税は産地を崩壊させる！市長は認識せよ！

「市長は西陣ネクタイ産地の実態を認識しているのか！製造、加工、販売まで担える会社はわずか数社。



西陣町ミュージアム構想の発展を！

私は現在、西陣織物に従事する労働者の組合「全西陣織物労働組合」の相談役を務めさせていただいています。組合員のみなさんは、いずれも一流の方々ばかりですが、業界の低迷で培ってきた技術を十分に発揮することがかなわない現状です。しかし、ものづくりへの情熱はたゆみなく、時代が求める伝統産業の新たな可能



西陣町ミュージアム・文化まつり(2013年10月)

2013年

9月市会で代表質問に立ちました



台風18号の被災者救援に全力を

党議員団が台風18号の被災地を視察。現地で寄せられた切実な声を示し、すべての被災者救援に全力をあげるよう求めました。そのために、国の法律と制度を柔軟に活用すること、同時に市独自の対策を求めました。

市長は、「国から被災者生活再建支援法の適用を受け、総額42億円の補正予算を追加提案した」と答弁しました。

得ることが必要」としながらも、国の判断だと強調しました。

「原発ゼロ」の決断、汚染水対策に全力を

大飯原発が定期点検に入り、原発の稼働はゼロとなっていることから、原発ゼロに進む決断を国と関西電力に求めるべきと指摘。福島第一原発の放射能汚染水漏れ事故は、国が汚染水の現状を調査公表し全責任をもつて危機打開すること、国に対して「収束宣言」の撤回を求めるべきと追及しました。市長は答弁に立たず、理事者はこれまでの京都市の見解を繰り返しました。

あいば野でのオスプレイ訓練の中止を

10月のあいば野での訓練は事前に飛行ルートも不明であり、市民の安全を脅かしていると批判し、中止を求めました。理事者は、「地域住民には説明と理解を

社会保障制度改革に反対 生活保護の改悪をやめよ

社会保障制度改革は、消費税引き上げと一

焼却灰溶融施設に固執した責任は市長に

灰溶融施設の欠陥を認めず、契約解除の判断を遅らせ、市民の税金をムダにした市長の責任は極めて重大だと指摘。市長責任を明確にすること、今後も灰溶融施設はつくらないこと、住友重工に全額補償を求めるべきと追及しました。市長は、「完成しなかったのは住重の技術的問題」と答弁。未完成な技術に固執した責任については答弁しませんでした。

水道料金の値上げはやめよ

理事者は、「法令に基づく資格証明書の交付や財産調査の実施は公平性の観点から必要」と冷たい答弁に終始しました。

水道会計が6年連続の黒字、下水道会計も2年連続の黒字であり、値上げをする理由はないと指摘。水道料金の値上げの撤回と低所得者への福祉減免制度の創設を求めました。さらに、水道管耐震化や老朽管対策は受益者負担ではなく、補助制度の拡充を国に求めるよう質しました。理事者は「料金値上げは老朽管更新のために必要」と市民負担増を押しつける答弁をしました。



国保広域化に反対し、高すぎて払えない 国保料の引き下げを

体で給付切り下げをおこなうものだと批判。切り下げた生活保護費をすみやかに復活すること、保護費の削減は絶対にしてはいけないことを強く国に求めるよう追及しました。

国保財政を逼迫させ、国保料の高騰と医療の質の低下を市民に押しつける都道府県単位化に反対するよう求めました。さらに、生活や営業が苦しくなり国保料が払えない人には親身に相談にのり、生活実態を把握して、分割納入や減免措置をおこなうよう求めました。

また、京都市独自の減免の実績を示し、一部負担金減免制度を利用しやすいものに改善するよう求めました。さらに、高すぎる国保料の引き下げ、資格証明書の発行をおこなわないよう求めました。

地元要求について

屋外広告物の取り扱いについて、基準に合致する広告物・看板への付け替えの助成制度の創設、申請手数料の負担軽減を求めました。

また、イズミヤ堀川丸太町店の車両出入り口の設置を見直すこと、堀川団地再整備計画は住民合意でおこなうよう求めました。

市民とともに 市政を動かす

14人の日本共産党京都市会議員団

14人の日本共産党京都市会議員団は、市民のみなさんと力をあわせ、市民いじめの悪い政治とキッパリ対決して、市議会でねばり強い論戦をおこなうとともに、つねに建設的な対案を示し、みなさんの切実な要求や願いを次々に実現させてきました。



安倍内閣の暴走にストップを

国民の「知る権利」を奪う秘密保護法の強行成立、消費税増税、社会保障解体、TPP強行、原発推進など、安倍自公政権は、あらゆる分野で暴走を続けています。共産党議員団は、安倍政権の暴走にストップをかける国民的運動の先頭に立つとともに、門川市長に対し「市民のくらしを守る立場から国に対し物を言うべき」と迫ってきました。しかし、市長は国いなりで、消費税増税や社会保障解体も推進の立場です。市長与党も昨年11月市会に56団体から出された「増税中止」の請願を不採択にしました。

秘密保護法は廃止すべき



4月からの消費税増税中止を

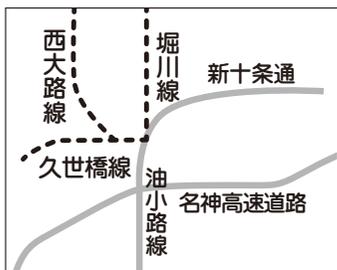


ムダな大型公共事業をストップさせる

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

高速道路未着工3路線

共産党議員団は、ムダと環境破壊の市内高速道路建設に当初から反対してきました。残る未着工3路線（堀川線・西大路線・久世橋線）の総事業費は2900億円。計画の中止を繰り返して求めてきましたが、2012年3月の市議会でも、市長は事実上、「廃止」を表明しました。



未着工3路線

市民サービス切り捨て、職員削減の「京プラン」は撤回を

4年間で250億円の福祉・教育予算を含む経常経費を削る「京（みやこ）プラン」実施計画は、国の構造改革路線をそのまま京都に持ち込むもので、くらしを守るためには、「京（みやこ）プラン」の撤回が必要です。

市バス・地下鉄運賃、水道料金の値上げ中止を

消費税増税にあわせた市バス・地下鉄運賃の値上げ、上下水道料金の値上げが提案されましたが、これに反対して議会で論戦をおこなったのは日本共産党だけでした。他党派・無所属の議員は、昨年10月からの水道料金値上げも含め、すべての値上げ提案に賛成しました。



「市民の宝物」

敬老乗車証を守れ

敬老乗車証について、京都市は、乗るた

台風18号被害への緊急対策と復旧支援に全力

市内にも大きな被害をもたらした昨年台風18号。共産党議員団として、200カ所をこす被害現場を調査し、緊急の対策と復旧支援などについて、京都市に3次の申し入れを行いました。



台風18号の被害対策について京都市に申し入れ

焼却灰溶融施設——契約解除

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

みなさんと力をあわせ、切実な要求を次々に実現

市営住宅の風呂がまは 京都市の責任で取り替えに 請願の紹介議員になったのは共産党だけ。毎年、市に要望してきました。

市バス均一運賃区間が 嵯峨・嵐山地域に拡大

10年来の地域住民のねばり強い運動と市議会での論戦が実ったものです。

西賀茂北部の柵野に 市バス路線が走ることに

西賀茂車庫までの市バス路線延長を求めてきた住民の悲願が実現したものです。

JR太秦駅、阪急西院駅等で バリアフリー化が前進

2014年度はJR桃山駅、阪急嵐山・松尾大社・上桂駅で基本構想が策定されます。